

2014年4月25日
株式会社日本政策金融公庫
中小企業事業本部
保険企画部

第180回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2014年1～3月期実績、2014年4～6月期見通し)

**[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、引き続き改善している
～景況は持ち直しているが、先行きについては慎重な見方～**

- | | |
|--------|---|
| 【金融関連】 | ○ 資金繰りD. I. は、マイナス幅がやや縮小した。マイナス幅の縮小は5期連続である。 |
| | ○ 借入難易感D. I. は、マイナス幅がやや拡大した。 |
| | ○ 借入実施企業の割合は、横ばい。 |
| 【保証利用】 | ○ 保証利用企業の割合は、減少した。 |
| | ※ 保証利用企業の割合・・・借入企業のうち信用保証を利用した企業の割合。 |
| | ○ 保証利用要請D. I. の次期見込みは、横ばい。 |
| | ※ 保証利用要請D. I.金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。 |
| 【生産等】 | ○ 生産・売上げD. I. は、プラス幅がやや拡大し、2期連続のプラス水準となった。先行きについては、慎重な見方となっている。 |
| | ○ 採算D. I. は、マイナス幅がやや縮小した。 |

＜調査の要領＞	調査時点	2014年3月中旬
	調査対象	9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪府、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 14,000企業を対象としており、 回答企業の約8割が従業員20人以下の小規模企業 となっています。
	有効回答企業数	3,096企業
	回答率	22.1%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2385(担当: 錦木、清水)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

第180回 信用保証利用企業動向調査 (2014年1～3月期実績、2014年4～6月期見通し)

＜ 業種別・規模別回答数 ＞

信用保証利用企業の資金繰りは、引き続き改善している

－ 景況は持ち直しているが、先行きについては慎重な見方 －

【金融関連】

○資金繰りD. I. は、マイナス幅がやや縮小。マイナス幅の縮小は5期連続。

○借入難易感D. I. は、マイナス幅がやや拡大。

○借入実施企業の割合は、横ばい。

【保証利用】

○保証利用企業の割合は、減少。

○次期における保証利用要請D. I. は、横ばい。

【生産等】

○生産・売上げD. I. は、プラス幅がやや拡大し、2期連続のプラス水準。先行きについては、慎重な見方。

○採算D. I. は、マイナス幅がやや縮小。

業種別	区 分	サンプル数	回答数		回答率
			回答数	構成比	
業 種 別	製造業	2,938	781	25.2	26.6
	内需関連製造業	1,203	294	9.5	24.4
	食 料 品	423	119	3.8	28.1
	織 維 品	407	91	2.9	22.4
	木 材 ・ 家 具	373	84	2.7	22.5
	機械金属関連製造業	1,735	487	15.7	28.1
	機 械	611	178	5.7	29.1
	電 気 機 器	342	90	2.9	26.3
	金 属	782	219	7.1	28.0
	非製造業	11,062	2,315	74.8	20.9
規 模 別	建設業	3,608	754	24.4	20.9
	卸売業	2,586	606	19.6	23.4
	小売業	2,211	431	13.9	19.5
	サービス業	2,657	524	16.9	19.7
規 模 別	0～20人	—	2,347	75.8	—
	0～2人	—	476	15.4	—
	3～5人	—	734	23.7	—
	6～20人	—	1,137	36.7	—
	21人以上	—	567	18.3	—
	21～50人	—	390	12.6	—
51人以上	—	177	5.7	—	
	不 明	—	182	5.9	—
	合 計	14,000	3,096	100.0	22.1

(1) 資金繰り

・資金繰りD. I. は、マイナス幅がやや縮小した。マイナス幅の縮小は5期連続である。

		2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3	4-6
資金繰りD.I.	実績	▲ 21.2	▲ 14.8	▲ 13.7	▲ 9.6	▲ 8.2	
	見通し	▲ 21.2	▲ 13.1	▲ 9.4	▲ 9.8	▲ 6.1	▲ 16.2

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

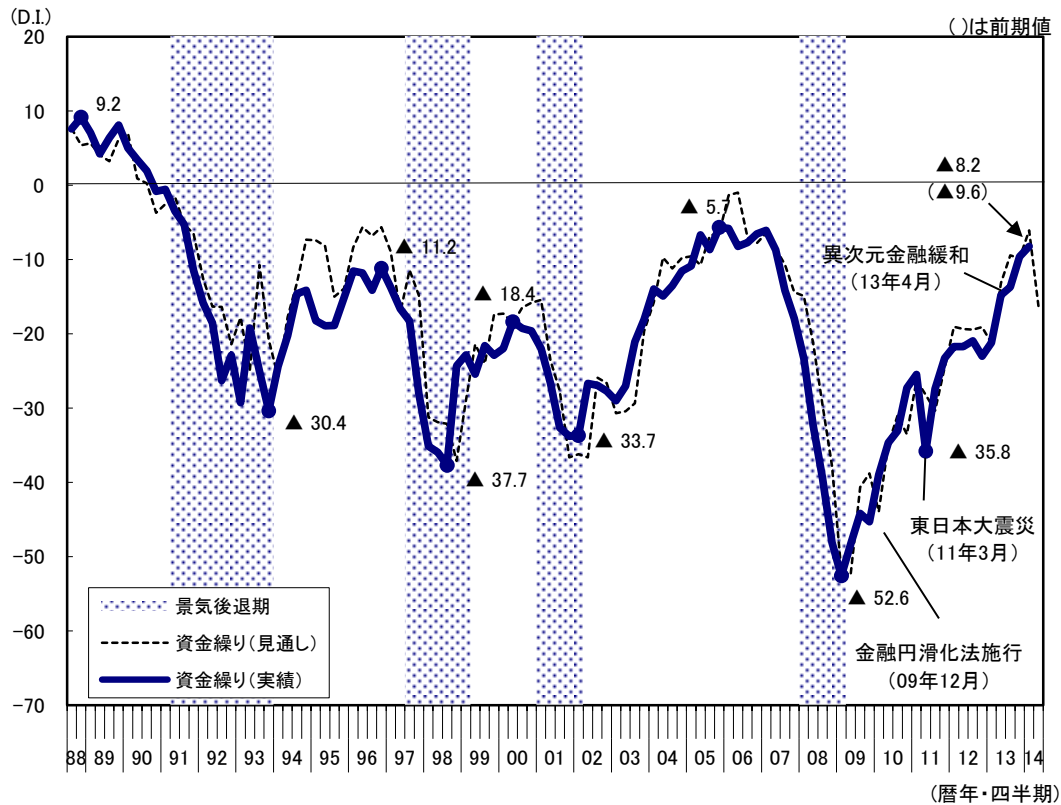
(2) 借入難易感

・借入難易感D. I. は、マイナス幅がやや拡大した。

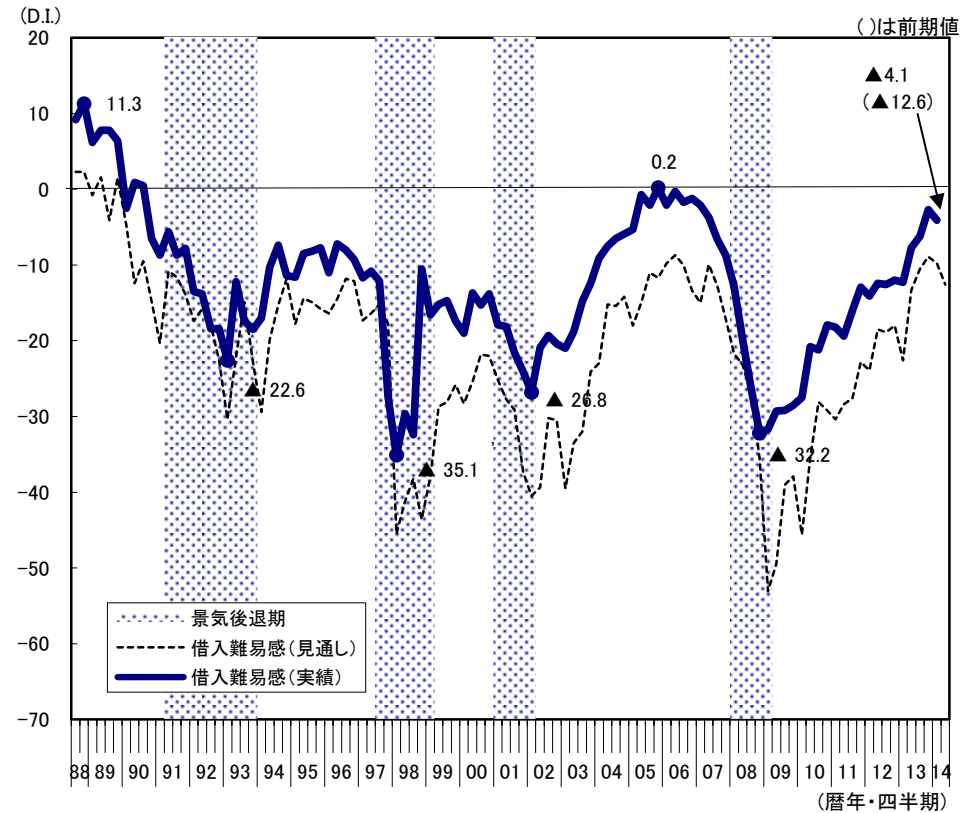
		2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3	4-6
借入難易感D.I.	実績	▲ 12.3	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 2.7	▲ 4.1	
	見通し	▲ 22.6	▲ 13.3	▲ 10.5	▲ 8.9	▲ 9.8	▲ 12.6

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD. I. (季節調整値)の推移



借入難易感D. I. の推移



(3) 借入れ状況

・今期(14年1~3月)に借入を実施した企業の割合は、横ばいとなった。

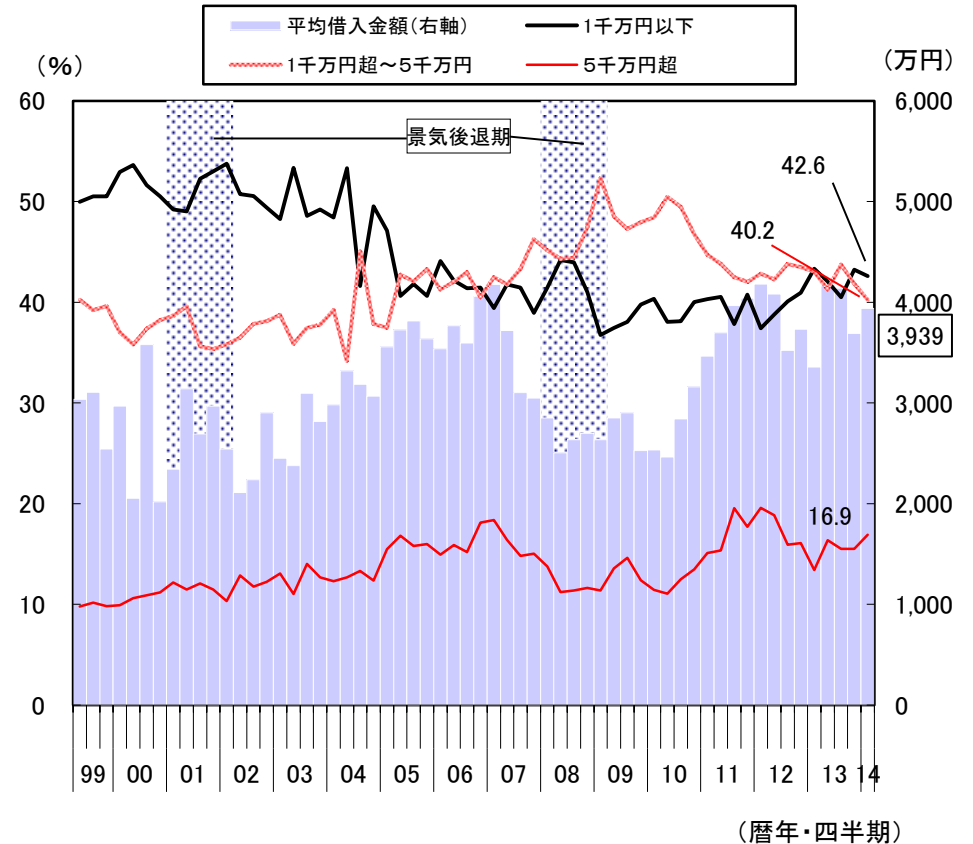
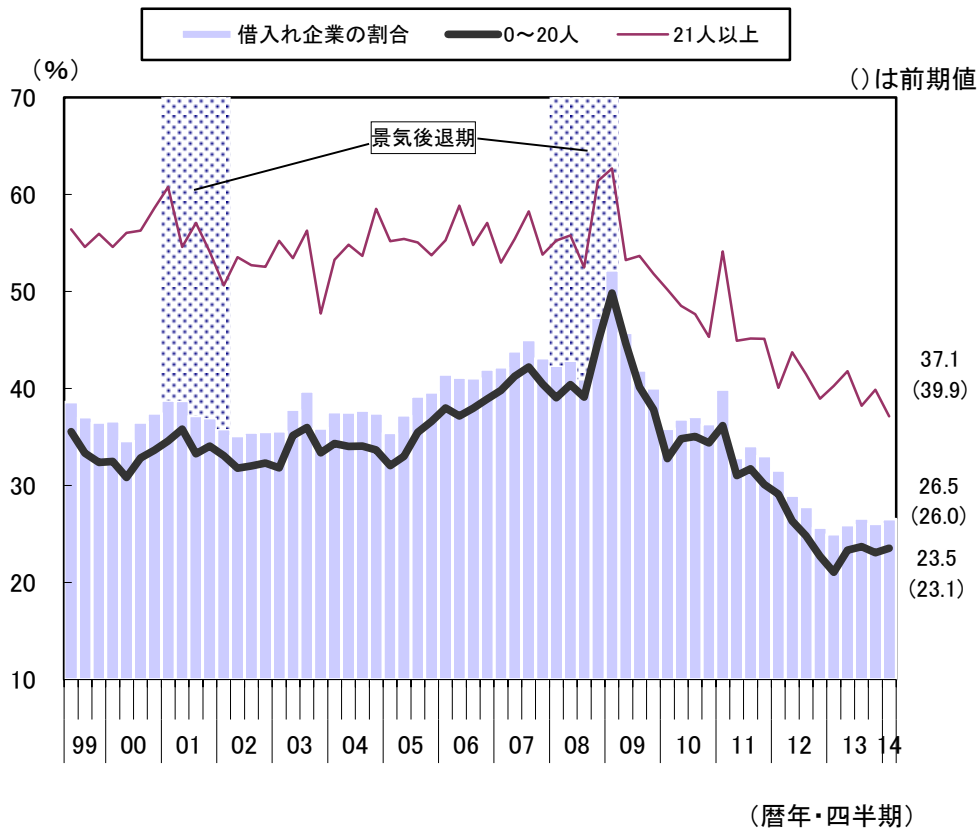
・一社あたりの借入金額別構成比は、「5千万円超」がやや増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3
借入れ企業の割合	25.0	25.9	26.6	26.0	26.5
0-20人	21.1	23.3	23.7	23.1	23.5
21人以上	40.3	41.8	38.2	39.9	37.1

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

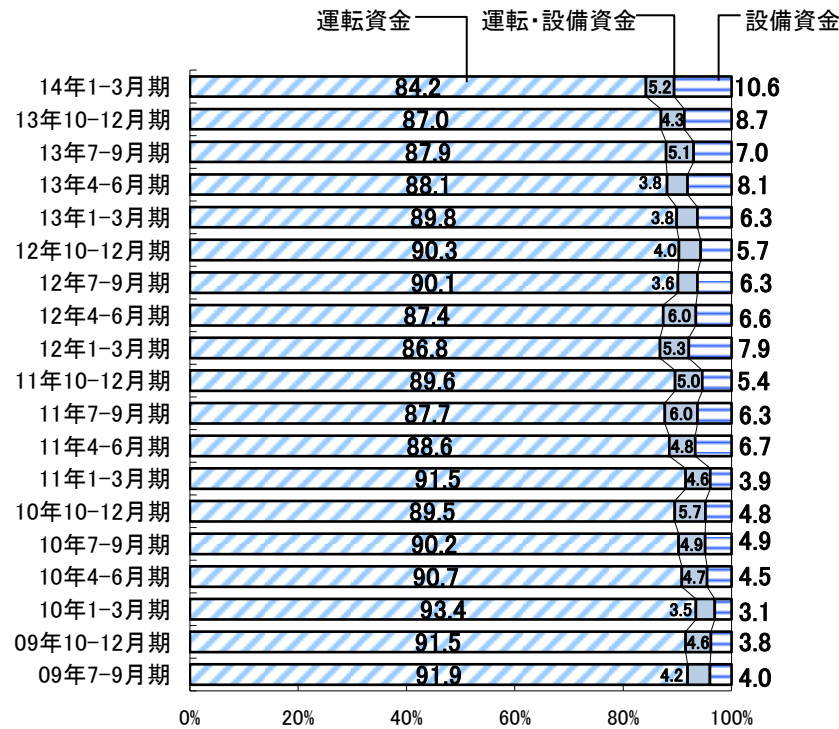
	2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3
1千万円以下	43.3	42.1	40.5	43.2	42.6
1千万円超~5千万円	43.0	41.3	43.7	41.8	40.2
5千万円超	13.4	16.4	15.5	15.5	16.9



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

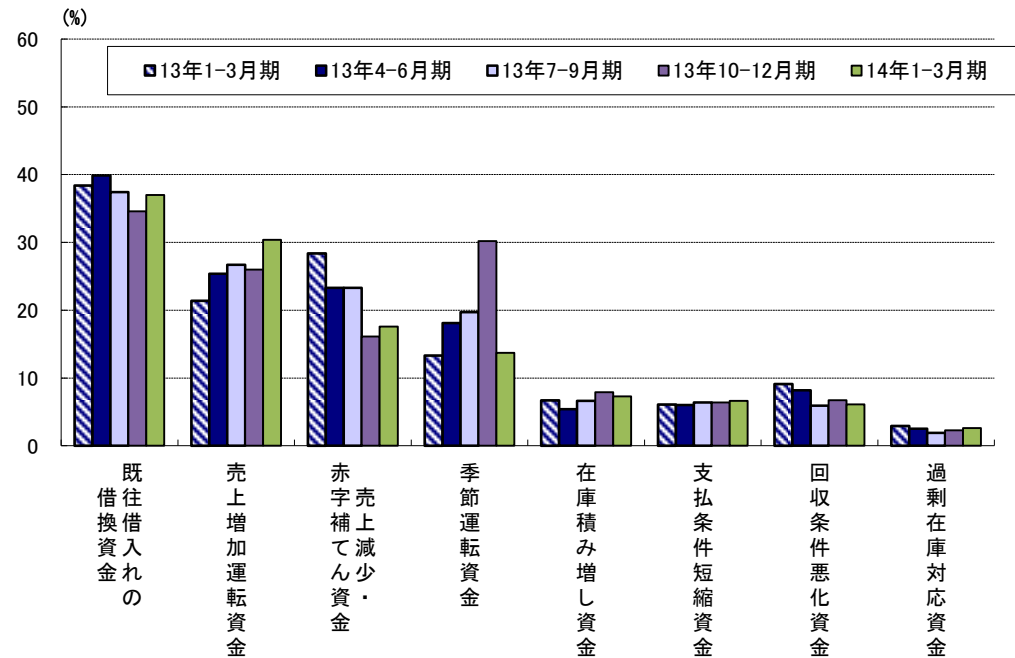
- ・資金用途については、設備資金がやや増加した。
- ・運転資金の内訳では、「売上増加運転資金」が増加した。

③-1 資金用途の構成



③-2 運転資金の内訳

(原数値)		既往借入れの借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
14年	1-3月期	37.0	30.4	17.6	13.7	7.3	6.6	6.1	2.6
13年	10-12月期	34.6	26.0	16.1	30.2	7.9	6.4	6.7	2.3
	7-9月期	37.4	26.7	23.3	19.7	6.6	6.4	5.9	1.9
	4-6月期	39.9	25.4	23.3	18.1	5.4	6.0	8.2	2.5
	1-3月期	38.4	21.4	28.4	13.3	6.7	6.1	9.1	2.9



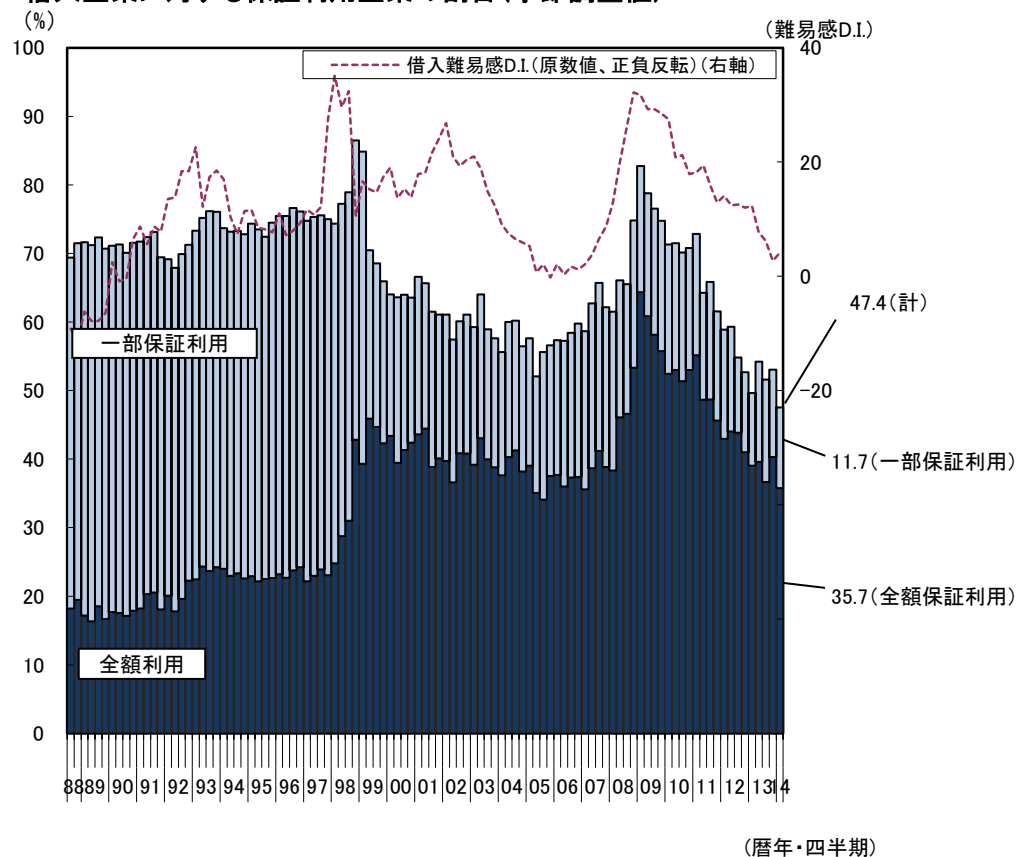
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金用途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

- ・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、減少した。
- ・保証利用割合別にみると、「全額利用」の割合がやや減少した。

	2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3
保証利用企業の割合	49.7	54.2	51.6	53.1	47.4
全額利用	39.1	39.6	36.6	40.3	35.7
一部利用	10.6	14.6	15.0	12.8	11.7
プロパーのみ利用企業の割合	50.3	45.8	48.4	46.9	52.6

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



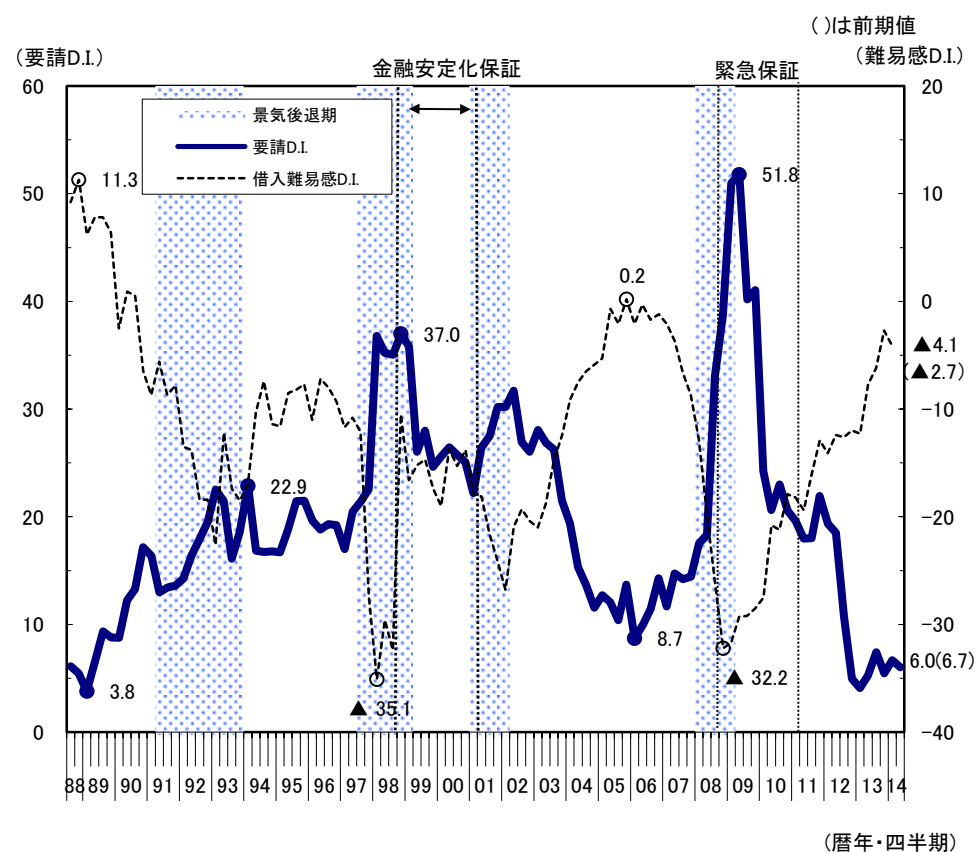
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

- ・次期(14年4~6月期)における保証利用要請D. I. は、横ばいとなった。

	2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3	4-6
要請D.I. 見通し	4.1	5.2	7.4	5.5	6.7	6.0
借入難易感D.I. 実績	▲ 12.3	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 2.7	▲ 4.1	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D. I. (季節調整値)及び借入難易感D. I. の推移



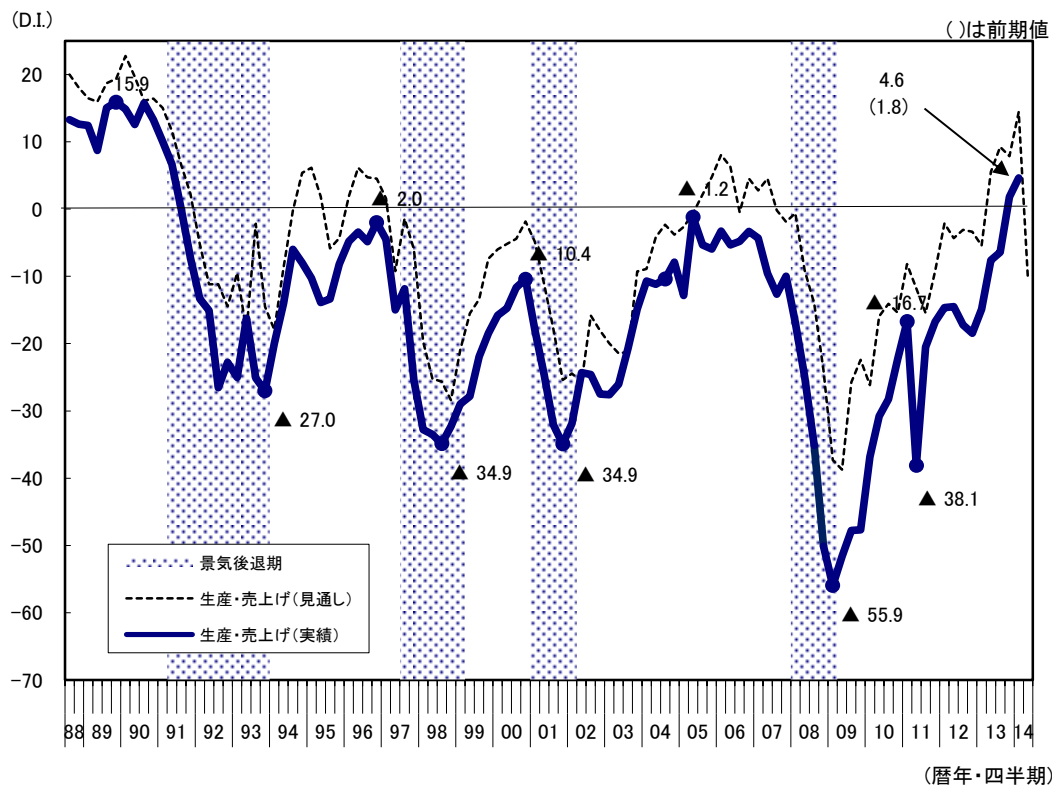
(5) 生産・売上げ

・生産・売上げD. I. は、プラス幅がやや拡大し、2期連続のプラス水準となった。先行きについては、慎重な見方となっている。

		2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3	4-6
生産・売上げD.I.	実績	▲ 14.9	▲ 7.6	▲ 6.4	1.8	4.6	
	見通し	▲ 5.4	5.5	9.2	7.9	14.4	▲ 10.6

(注) 前期比。生産・売上げD.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

生産・売上げD. I. (季節調整値)の推移



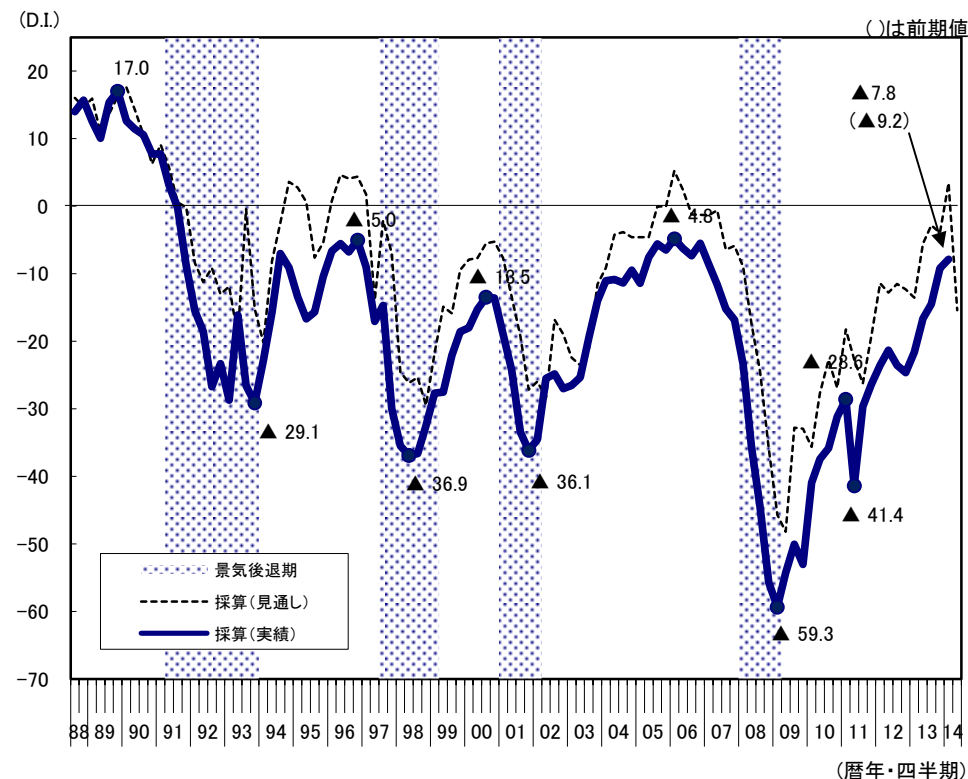
(6) 収益

・採算D. I. は、マイナス幅がやや縮小した。

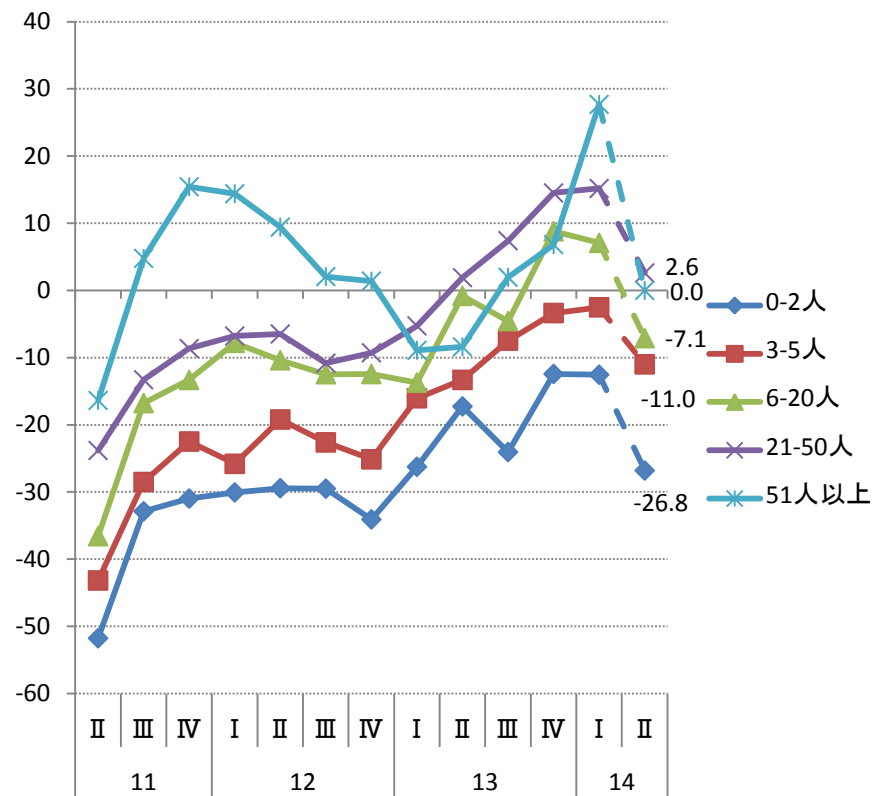
		2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3	4-6
採算D.I.	実績	▲ 21.6	▲ 16.6	▲ 14.5	▲ 9.2	▲ 7.8	
	見通し	▲ 13.6	▲ 5.5	▲ 2.9	▲ 3.9	3.4	▲ 15.4

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

採算D. I. (季節調整値)の推移

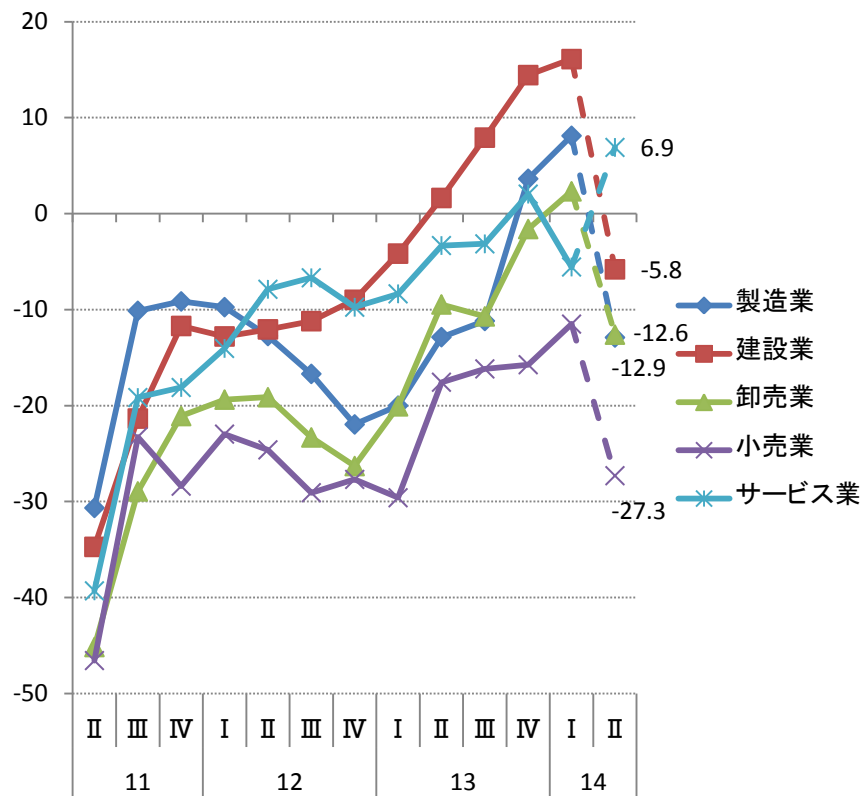


【参考資料1】生産・売上D.I.(規模別)



生産・売上D.I.(規模別)は、従業員「51人以上」の企業(6.8→27.7)でプラス幅が大幅に拡大した。また、従業員「5人以下」の企業では、未だマイナス水準にあるものの、改善傾向にある。
次期(4-6月期)の見通しは、全ての規模で悪化を見込んでいる。

【参考資料2】生産・売上D.I.(業種別)



生産・売上D.I.(業種別)は、今期新たに卸売業(▲1.6→2.3)でプラス水準に転じ、製造業(3.6→8.1)及び建設業(14.4→16.1)を含めて3業種がプラス水準となった。一方、小売業(▲15.7→▲11.5)は改善しているものの、未だマイナス水準に留まっており、サービス業(2.0→▲5.6)はマイナス水準に転じた。
次期(4-6月期)の見通しは、サービス業以外の業種で悪化を見込んでいる。